アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.150/2019 年(令和元年)7 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第150号をお届けします.

【1】2018年度下期表彰式報告

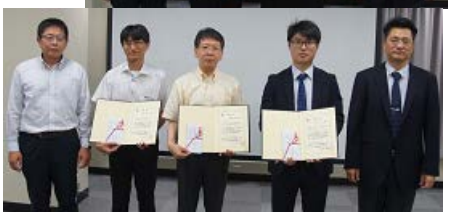
6月20日（木）機械振興会館にて，2018年度下期AP研表彰式が開催されました．受賞者の方々は，以下のとおりです．（敬称略）

・活性化貢献賞(年間を通じて最多の発表を行い研究会活性化に貢献した登壇者)

西森健太郎（新潟大，発表12回）

・若手奨励賞(35歳までの博士課程学生・社会人で2018年度下期に優秀な発表を行った登壇者)

谷口 諒太郎 （新潟大），篠崎 友花（横浜国大）



・学生奨励賞(35歳までの学部・修士課程学生で2018年度下期に優秀な発表を行った登壇者)

グェンタインビン(防衛大)，那須俊哉(名工大，写真は菊間先生)，生川菜々（富山大，写真は)，大川小鉄（防衛大）

・AP研功労賞　退任されたAP研執行部，各種委員，AMT研委員など，計36名受賞

・伝播モデリングコンペティション

優秀賞（1件）中林寛暁(千葉工大)他

特別賞（2件）倉原彰秀(農工大)他、脇直道(九工大)他

・2019年2月発行英文誌AP研特集号におけるAP研論文賞

”A Low Cost Solution of Hand Gesture Recognition using a Three-dimensional Radar Array,” Shengchang LAN, et al., IEICE Transactions on Communications, Vol.E102-B, No.2, pp.233-240, Feb. 2019.

【2】 7月研究会報告

7月の研究会は，7月17日(水)～19日(金)に東北大学にて実施されました．当研究会は，アンテナ伝播研究会（AP），宇宙航空エレクトロニクス研究会（SANE），衛星通信研究会（SAT）の3研究会合同の研究会でした．合計46件の発表があり，内訳は，SAT/SANE合同3件，SAT/AP合同3件，SAT件3件（特別講演1件，一般公演2件），SANE13件（地下電磁計測WSとして一般公演13件）AP24件（チュートリアル講演1件，依頼講演13件，一般10件），IEEE AP-S Japan chapter特別講演1件でした．佐藤源之先生のチュートリアル講演，水野皓司先生（東北大）の特別講演，粟野穣太氏（JAXA）の特別講演があり，大変貴重な知見を得ることができました．佐藤先生からは，GB-SARという防災などに非常に有用な計測技術のお話を，水野先生からは世界中で注目され，次世代の計測技術であるTHz計測のお話を賜りました．また，佐藤先生からは，現地での地雷探査用の機器の実物を持参していただき，実際の動作のデモも行われました．

研究会は，連日50～100名程度の参加者があり，非常に関心が高い研究会であったと思います．

【3】 今後の開催案内

1種研としては，8月21～23日北海学園大学，9月19日～20日JAXA宇宙科学研究所，10月17日～18日大阪大学にて開催されます．10月研究会では，初めての取り組みとして，学生と企業との交流イベントを17日（木）に開催予定です．企業，大学双方の方々にとって魅力のあるものとすることを目的としております．学生によるポスター発表（表彰があります），企業および研究機関における取り組みの紹介を行います．交流会では，学生と企業が直接対話できます．申し込み締め切りは8月10日（厳守）です．多くの企業，学生の皆様の申し込みを期待しております．9月10～13日に大阪大学で開催されるソサイエティ大会はそろそろプログラムも公開されると思います．ふるってご参加お願いします．詳細は以下のリンク，QRコードからアクセスお願いします．
http://www.ieice.org/~ap_ac/jpn/pdfs/1910_social_event.pdf

【4】 副委員長の戯言

AP研に関係する多くの方々は，アトランタで7月8日から開催されたIEEE AP-Sに参加されたと思います．AP-S参加報告は，誰かが行ってくれることを期待して，私は，同じ日程でタイのパタヤで開催されましたECTI-CON2019に参加しましたので，その概要をご報告します，今回はKeynote speechとして，5Gの周波数帯でのアンテナ精密計測技術等に関する講演と，大学，研究機関，企業との今後の連携に関するパネルディスカッションのパネリストとして参加してきました．陳AP研委員長が今年度のAP研の課題とされている「企業と大学の連携」が，東南アジア各諸国も含めて課題となっていることを実感することができました．パネルディスカッションのパネリスト5名の内，ベトナム，インドネシアの先生は日本留学や日本の大学との共同研究を実施されていたとのことで，非常に親近感がありました．どの国も，大学は論文執筆の優先度が高いのですが，企業は製品開発優先で，論文執筆の優先度が低いため，そのギャップを埋めることが課題のようです．私の所属する産総研も同じ課題があると思っております．
今回参加したECTI-CONは，日本は計測自動制御学会（SICE）が協賛です．APとは異分野の先生方が多く参加されていましたので，「研究領域融合」を今後図っていくのに良い連携ができそうな気がしました．具体的にはまだ？です．バンコクスワンナプーム空港からパタヤに向かう車からは，途中の町に日本の企業団地が見えました．在タイ日本企業とAP研の今後の連携のポテンシャルも感じることができました．

今回のタイ訪問では，マンゴーとスイカが最もおいしく安価な季節でしたので，非常においしいマンゴーとスイカ（スイカジュースが一番好きです）をいただけたことも強く印象に残っています．土産で買った乾燥マンゴーは，ヨーグルトに一晩つけると美味しく食べられました．

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　黒川 悟（AIST）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/